

# 泉大津市の現状（アンケート調査結果の抜粋）

# 1. 調査の概要

## 〔1〕調査概要

### ■ 調査目的

「第3次いずみおおつ健康食育計画」の見直し・推進に向けて、市民が健康づくりや食育に関してどのような意識やニーズをお持ちであるかをうかがい、市民一人ひとりの健康課題に合わせた取り組むべき目標や指標の現状値を把握するため、小学生、中学生、保護者、16歳以上の市民及び市内事業者を対象としたアンケート調査を実施しました。

### ■ 調査種別・方法

- ①小学5年生 : 小学校で配布－WEB回答
- ②中学2年生 : 中学校で配布－WEB回答
- ③上記①・②及び就学前児童の保護者 : 学校・就学前施設で配布し、回収はWEB回答
- ④16歳以上の泉大津市民 : 郵送配布－郵送・WEB回収
- ⑤泉大津商工会議所会員企業 : 郵送配布－郵送・WEB回収

### ■ 回収状況

対象	配布数	有効回収数	有効回収率
①小学5年生	544	226	41.5%
②中学2年生	599	121	20.2%
③上記①・②及び就学前児童の保護者	1,467	185	12.6%
④16歳以上の泉大津市民	2,000	655	32.8%
⑤泉大津商工会議所会員企業	200	84	42.0%

## 2. 結果の概要

### 〔1〕 成果指標に対する達成状況 ※詳細は、資料「成果指標達成状況一覧」を参照

#### 1 健康づくりを支える環境づくり

- ・自分のことを健康だと思う人の割合はほぼ変化なく、目標達成に至らず。
- ・心疾患・脳血管疾患の年齢調整死亡率<sup>※1</sup>、メタボリックシンドローム<sup>※2</sup>の該当者及び予備群の割合は、男性が悪化。高血糖治療域及び運動習慣がある人の割合では女性が悪化。
- ・あしゆび力測定者数や食育に関心のある人の割合は目標達成。

#### 2 妊娠・出産・乳幼児期（0～5歳）

- ・ほぼすべての項目で目標を達成。
- ・妊婦の喫煙率は、改善傾向にはあるものの、目標は達成せず。

#### 3 学童・思春期（6～19歳）

- ・肥満度20%以上の子どもの割合が、小中学生ともに悪化。
- ・朝食をほぼ毎日食べている子どもの割合は、やや改善傾向にあるものの、目標は達成せず。

#### 4 青・壮年期（20～64歳）

- ・約半分の項目で、悪化。特に、喫煙率・飲酒率では男性の割合の増加がみられる。
- ・肥満者割合では、女性が大幅に増加している。男性は改善しているものの、まだ約3割が肥満となっており、引き続きの対策が必要である。

#### 5 高齢期（65歳以上）

- ・高齢者の歯科健診の受診、喫煙率、飲酒率ともに改善傾向（もしくは目標達成）。
- ・地域活動や地域の行事への参加割合は変化がみられない。

※1 年齢調整死亡率：人口10万人あたりの死亡数から、高齢化など年齢構成の変化の影響を取り除き、比較できるようにしたもの。

※2 メタボリックシンドローム：内臓脂肪の蓄積に加えて、脂質代謝異常、高血糖、高血圧のうち2つ以上該当した状態のこと。  
それにより動脈硬化を促進させ、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険性が高まるとされている。

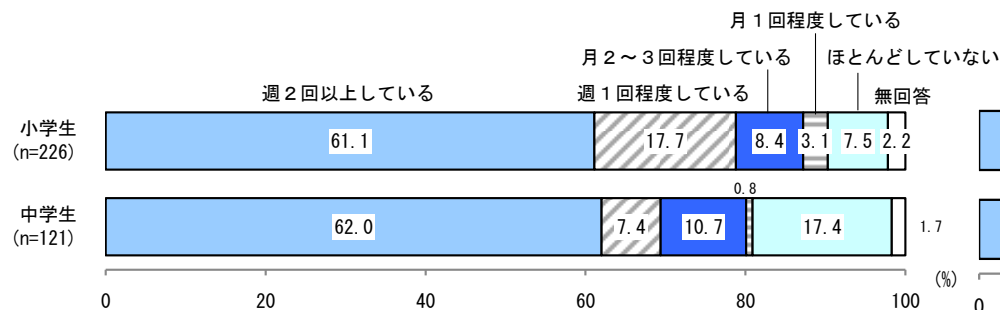
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

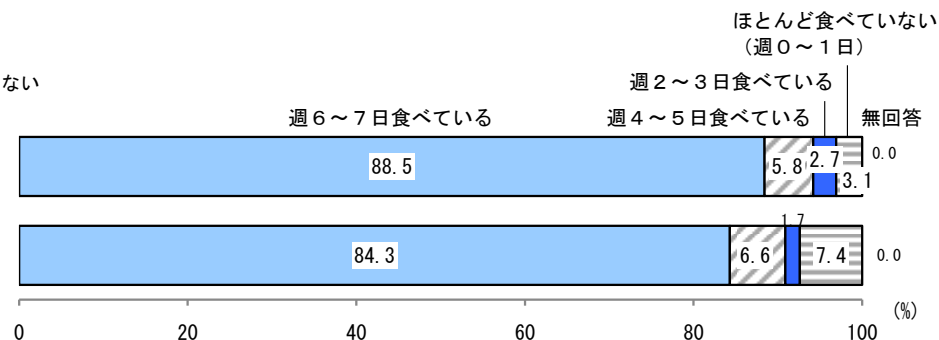
### ■ 子どもの健康状況①

- ・ 運動頻度は小学生に比べて中学生で低く、「ほとんどしていない」が2割近くを占める。
- ・ 朝食の摂取頻度は、小中学生ともに8割以上が「週6～7日食べている」となっているものの、中学生では「ほとんど食べない」が1割近くを占める。
- ・ 睡眠による休養は、小学生に比べて中学生で取れていない割合が高い。

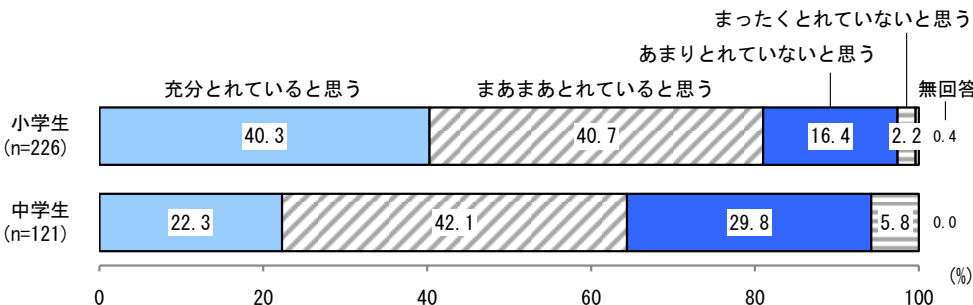
【1日30分以上の運動頻度】



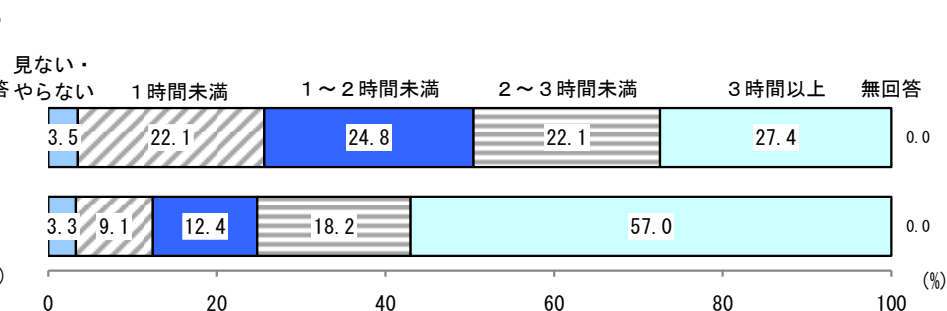
【朝食の摂取状況】



【睡眠による休養取得の状況】



【テレビやゲーム、インターネット等の視聴時間】



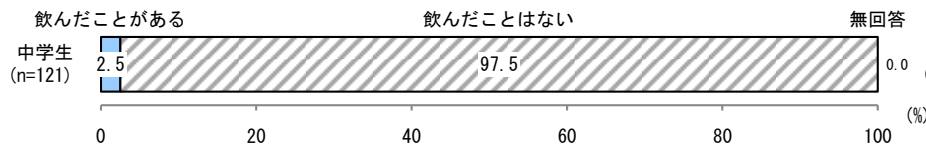
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

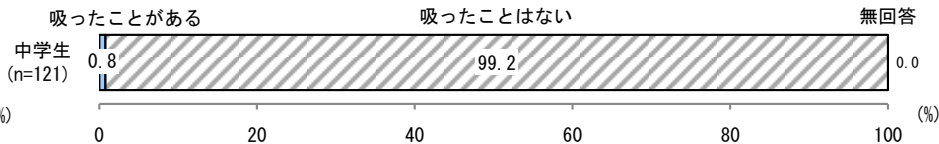
### ■ 子どもの健康状況②

- ・ 飲酒経験では「飲んだことがある」が2.5%、喫煙経験では「吸ったことがある」が0.8%となっている。
- ・ 「あしゆびプロジェクト」の認知度は、小学生では約4割、中学生では2割以上の認知度となっているものの、実践状況では小学生が2割未満、中学生が1割程度と、認知度に比べて実施割合は低い。

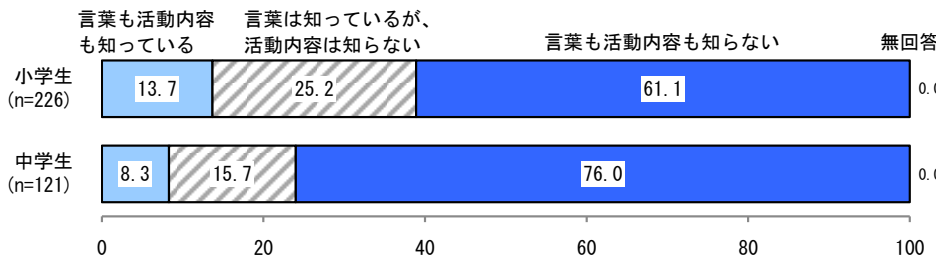
【飲酒経験】



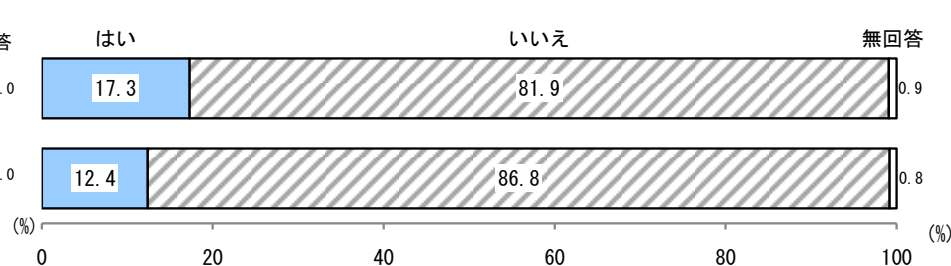
【喫煙経験】



【「あしゆびプロジェクト」の認知度】



【あしゆびを意識した取り組みの実践状況】



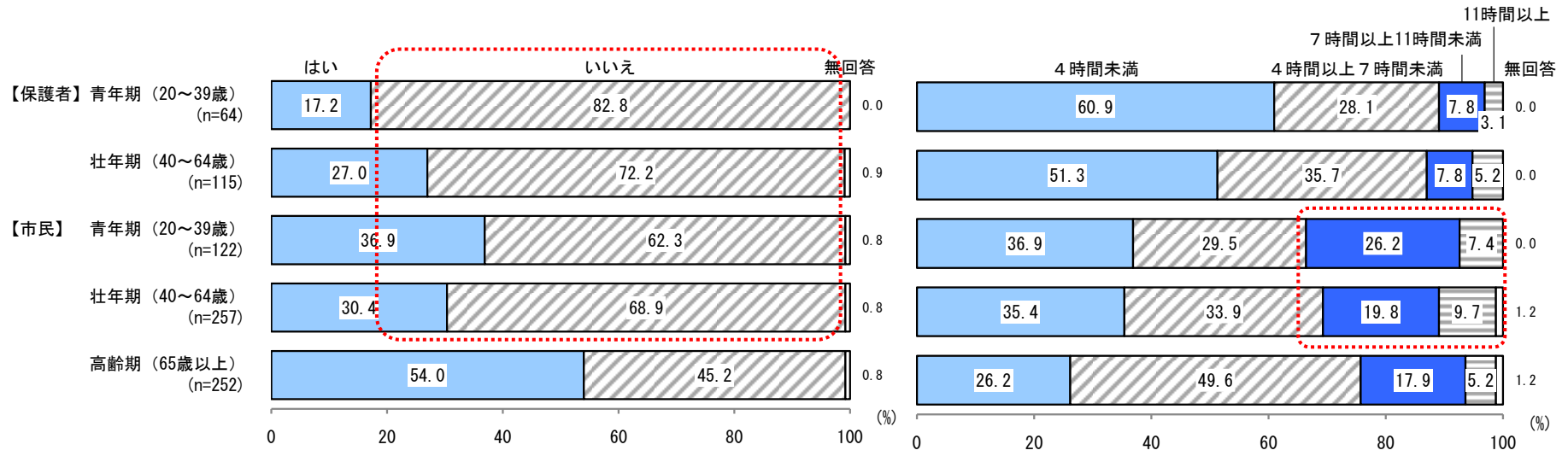
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ 運動状況

- ・ 運動の実施状況は、市民・保護者ともに、青・壮年期で4割未満。
- ・ 座ったり、寝転がったりして過ごす時間の1日平均時間は、保護者は少ないのに対し、市民では多く、特に、「7時間以上」が、市民の青・壮年期では3割程度となっている。

【1回30分以上の軽く汗をかく運動の週2日以上の実施状況】 【座ったり、寝転がったりして過ごす時間の1日平均時間】



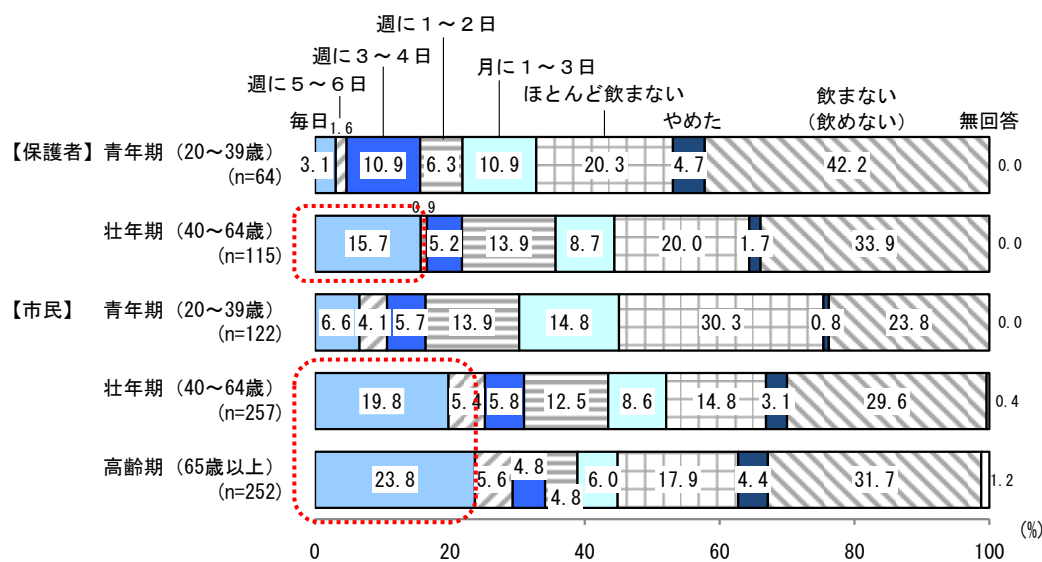
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

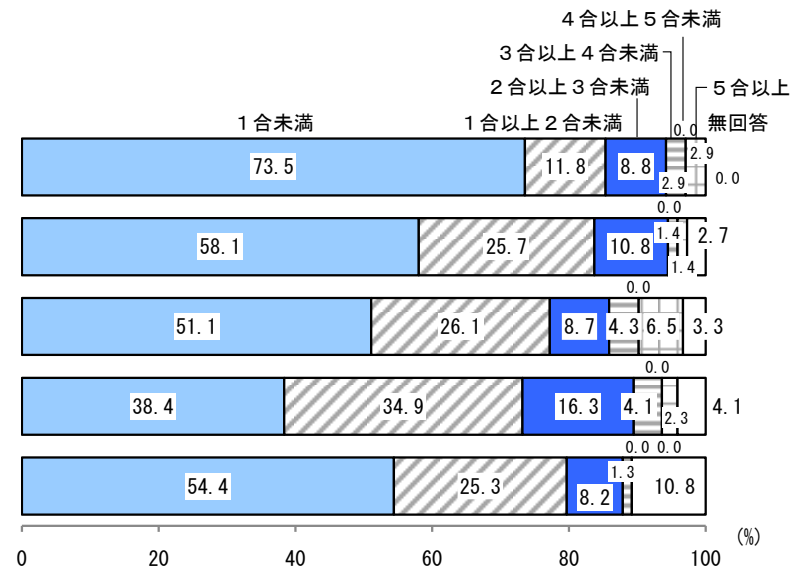
### ■ 飲酒

- ・ 飲酒頻度は、壮年期・高齢期で「毎日」が2割を占めており、青年期に比べて飲酒頻度が高い。
- ・ 1日あたりの飲酒量では、青年期に比べて壮年期で飲酒量が多くなっている。

【飲酒の状況】



【1日あたりの飲酒量】

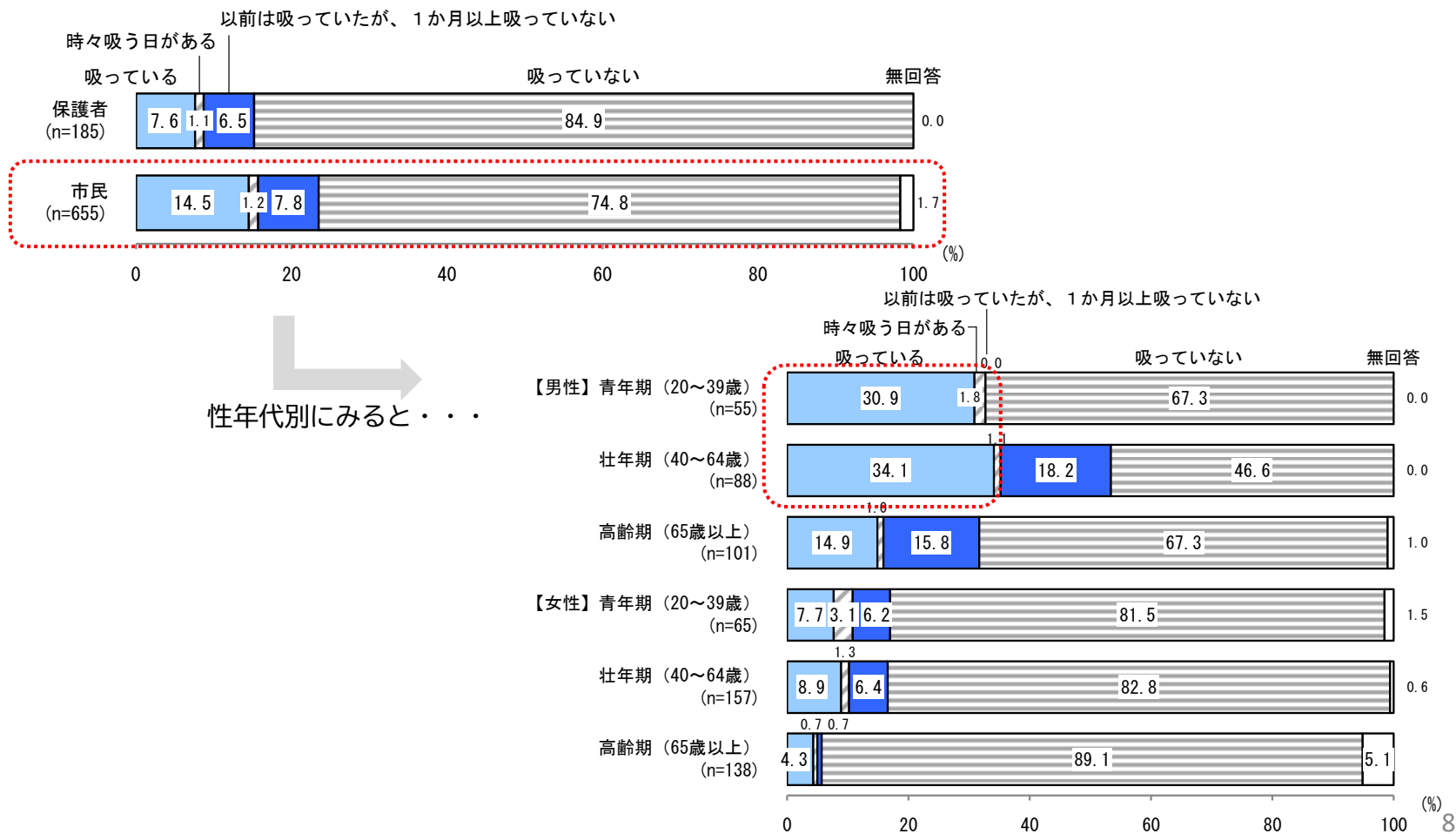


# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ 喫煙

- ・ 喫煙率は、保護者に比べて市民の喫煙率が高い。
- ・ 市民の喫煙状況を性・年代別にみると、男性の青・壮年期で、喫煙率が3割以上を占めている。





# 2. 結果の概要

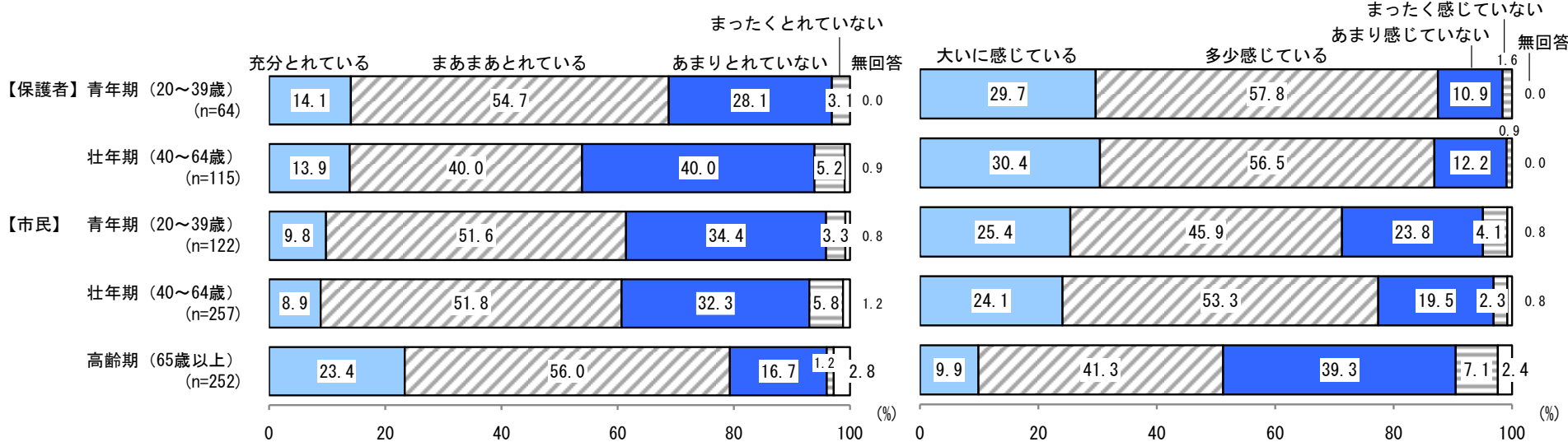
## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ こころの健康・休養①

- ・睡眠による休養、高齢期ではとれている人が多く、青・壮年期ではとれていない人が多い。
- ・ストレスの有無では、市民に比べて保護者で感じている人が多く、また、市民では壮年期でストレスを感じている人が多い。

【睡眠による休養取得の状況】

【ストレスの有無】



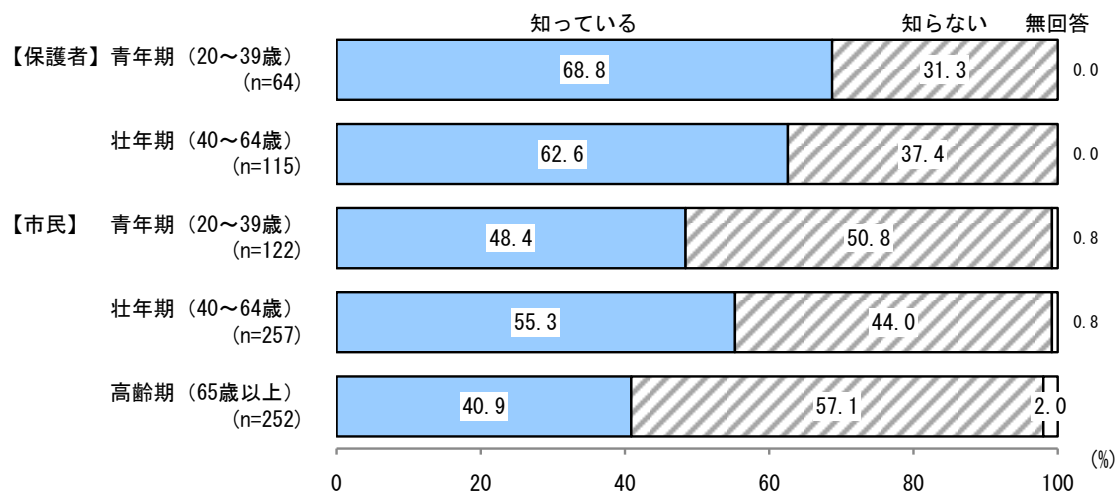
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ こころの健康・休養②

- ・こころの健康について相談できる場の認知度では、保護者に比べて市民では知っている人が少ない。
- ・また、年代別にみると、市民の青年期・高齢期では「知らない」が半数以上を占める。

【こころの健康について相談できる場の認知度】

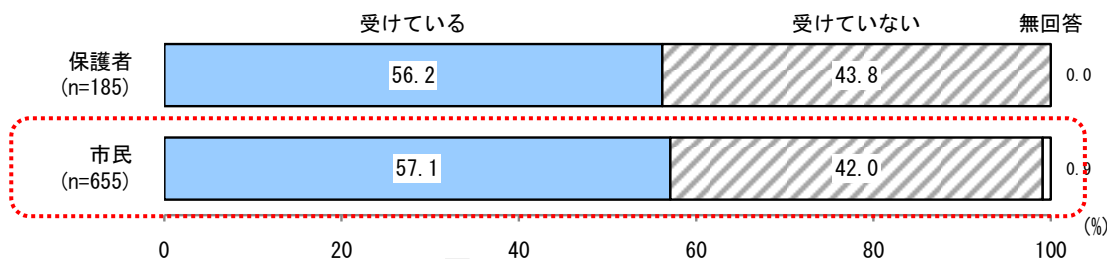


# 2. 結果の概要

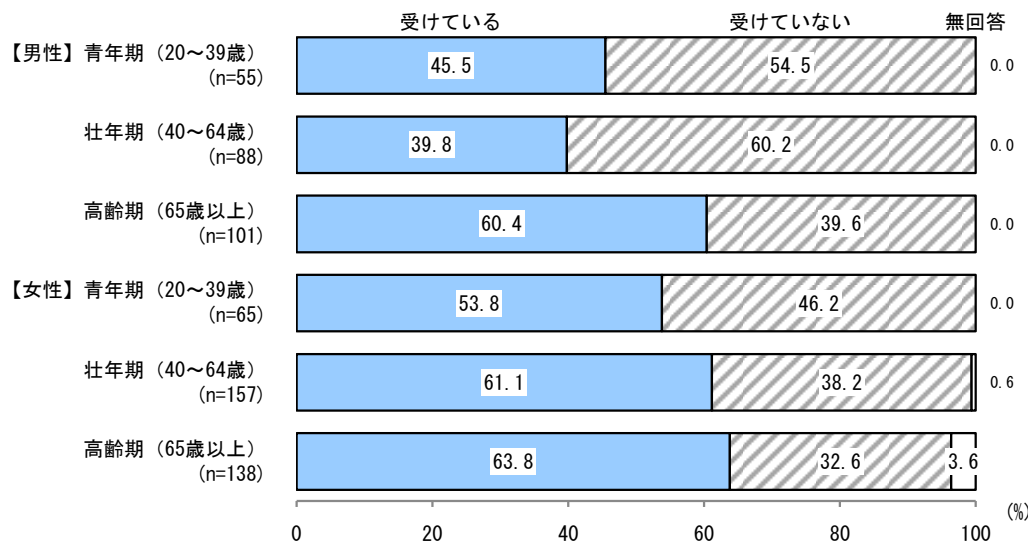
## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ 口・歯の健康

- ・ 歯科健診の受診状況は、保護者・市民での差はなく、受診率はともに5割以上となっている。
- ・ 性年代別にみると、いずれの年代でも女性に比べて男性の受診率が低い。特に、男性の壮年期では約4割の受診率となっている。



性年代別にみると・・・



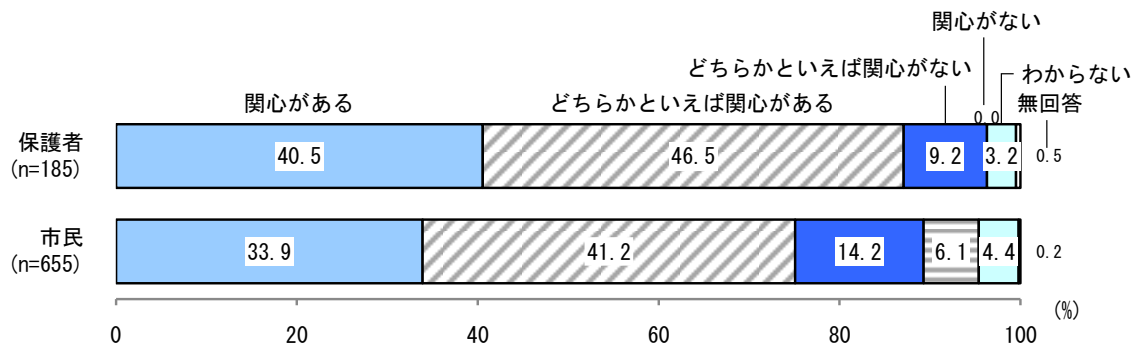
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

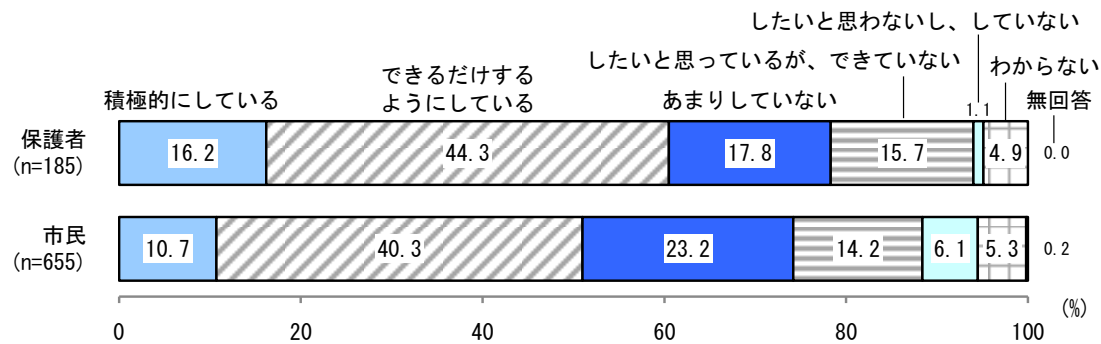
### ■ 食育への関心

- ・ 食育への関心度は、市民に比べて保護者で関心度が高くなっている。
- ・ 活動や行動の実施状況では、『活動している』（積極的にしている+できるだけするようにしている）が、保護者が約6割、市民では約半数と、関心度の高さに比べると実施状況は低い。

【食育への関心度】



【食育に関する活動や行動の実施状況】



# 2. 結果の概要

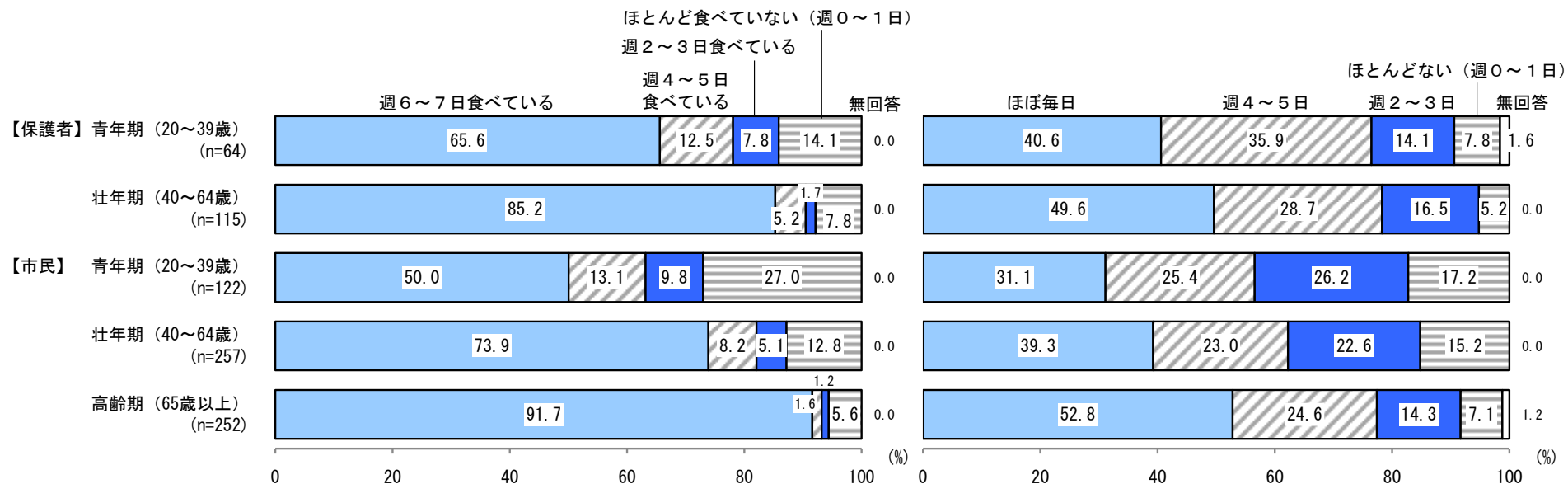
## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ バランスの取れた食生活の実施状況

- ・朝食の摂取状況は、保護者に比べて市民の摂取状況が悪く、また、年代が低いほど摂取状況が悪い。
- ・主食・主菜・副菜をそろえて1日に2回以上食べる頻度についても、保護者に比べて市民の頻度が低く、t苦に、市民の青・壮年期では「ほとんどない（週0～1日）」が2割近くを占める。

【朝食の摂取状況】

【主食・主菜・副菜をそろえて1日に2回以上食べる頻度】



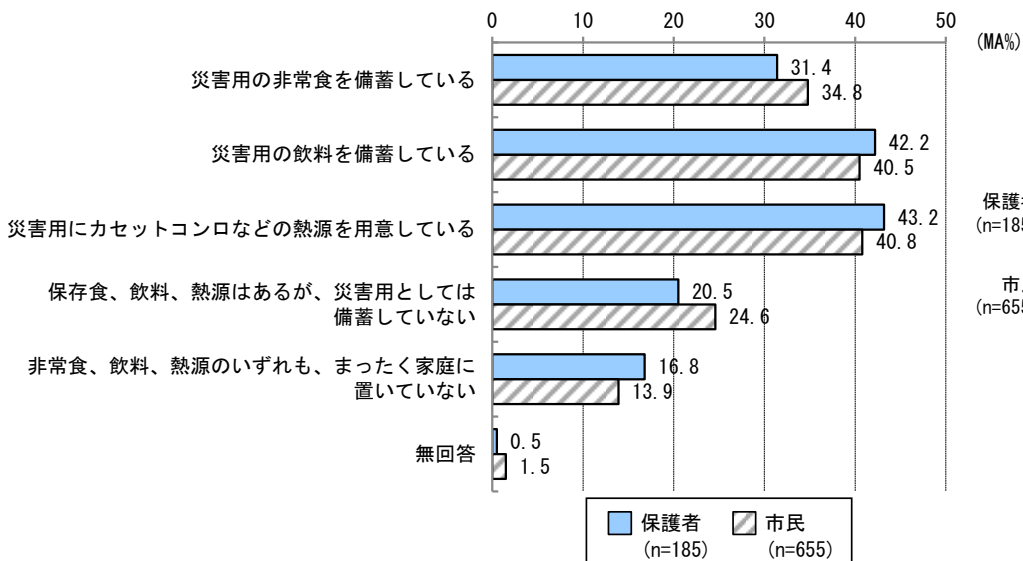
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

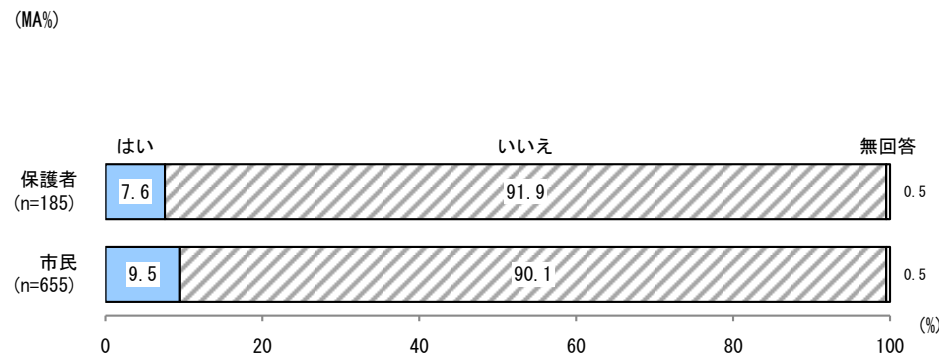
### ■ 備蓄状況

- ・災害用の備蓄状況では、飲料を備蓄している人が4割をしめているものの、備蓄していない人が3割以上を占める。
- ・玄米の備蓄状況は、1割未満と低い。

【災害用の備蓄状況】



【玄米の備蓄状況】



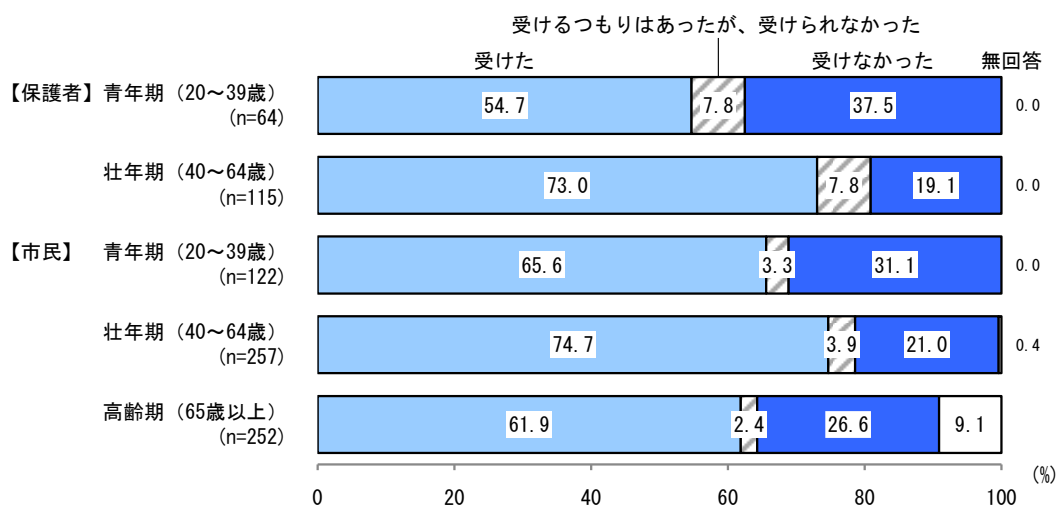
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

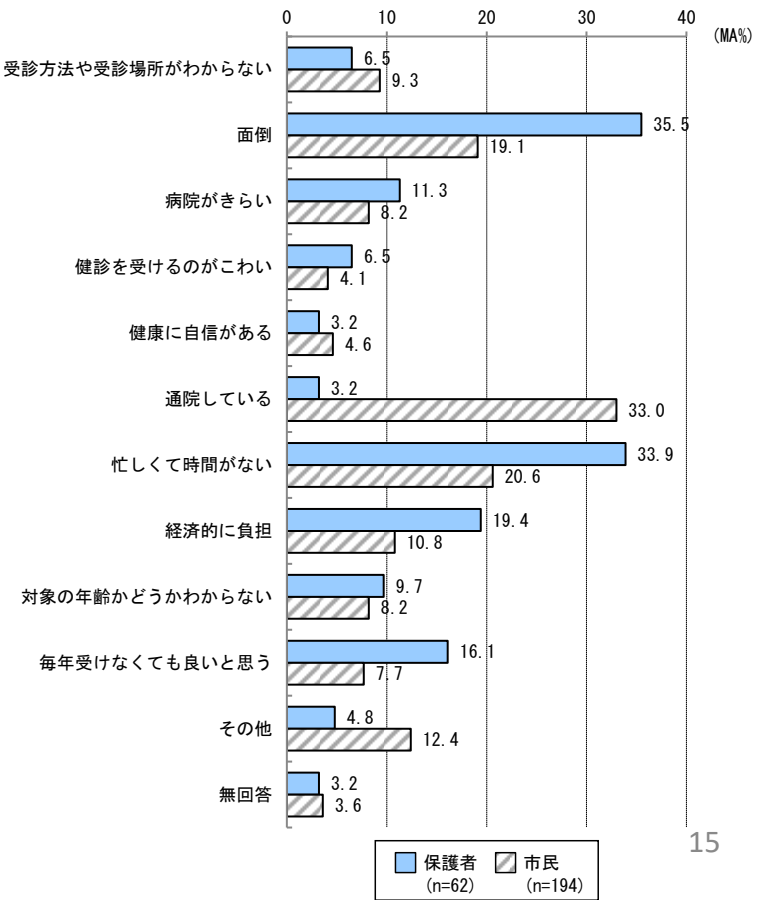
### ■ 健診・人間ドックの受診状況

- ・ 健診・人間ドックの受診状況は、保護者・市民ともに壮年期で7割を超えているのに対し、青年期では、3割以上が「受けなかった」と回答している。
- ・ 受けなかった理由では「面倒」「忙しくて時間がない」などが保護者で高くなっている。

【健診・人間ドックの受診状況】



【健診を受けなかった理由】



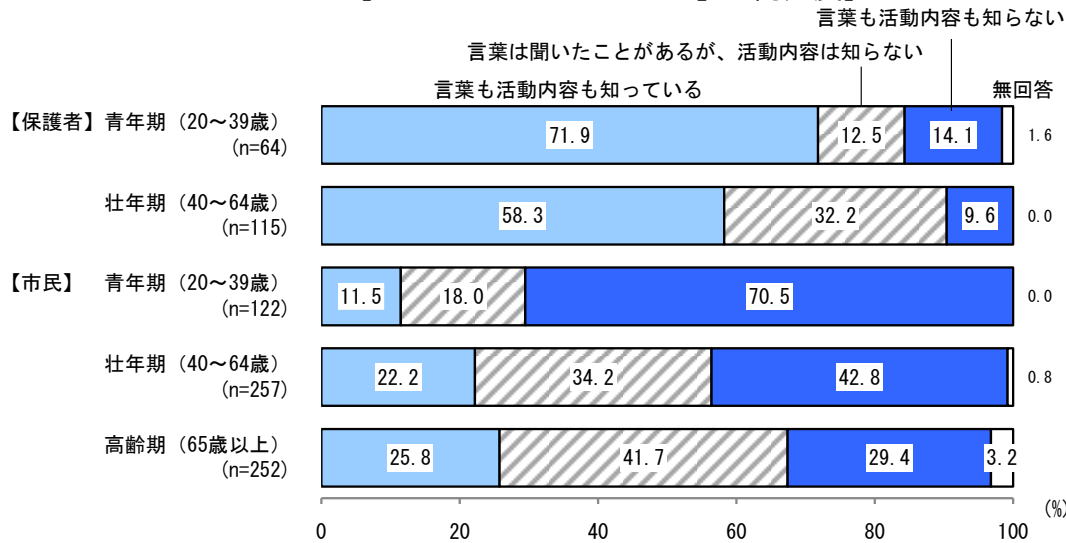
# 2. 結果の概要

## 〔2〕 調査結果の抜粋 ※成果指標項目以外より抜粋

### ■ あしゆびプロジェクト

- ・ 認知度については、市民に比べて保護者の認知度が高い。
- ・ 市民では、年代が低いほど認知度が低く、青年期では約7割が「知らない」と回答している。
- ・ 実践状況では、『取り組んでいる』（積極的に取り組んでいる+取り組んでいる+気が向いたときに、ときどき取り組んでいる）は、保護者では3割程度、市民では青・壮年期が2割程度、高齢期が4割以上となっており、認知度に比べて実施割合は低い。

【「あしゆびプロジェクト」の認知度】



【足を整えるための取り組みの実施状況】

